

完了後の評価個表

整理番号	森5-1
------	------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	香川県
ふりがな 地域(地区)名	まんのう町 ^{ちよう}	事業実施主体	香川県、まんのう町、香川西部森林組合、仲南町森林組合、森林所有者
関係市町村	まんのう町	管理主体	まんのう町
事業実施期間	平成18年度～平成22年度(5年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>① 位置等 まんのう町は、平成18年3月に旧琴南町、旧仲南町、旧満濃町が合併により誕生した町で、香川県の南西部、讃岐山脈の北麓に位置し中央部を土器川が流れている。大川山及び竜王山の標高1,000m近くの山を中心に500m～900mの山並みが連なる自然の豊かな町である。</p> <p>② 森林の状況 本地区の総面積19,445haのうち、森林面積は13,448haで総面積の69%を占めており、国有林2,406ha(18%)、民有林11,042ha(82%)となっている。 民有林の人工林面積は4,001ha(36%)で、そのうち内利用期を迎えたⅦ齢級以上の林分が2,679ha(67%)を占めており、搬出間伐等により森林資源の有効な活用を行っていく必要がある。一方で、保育を必要とするⅦ齢級以下の林分1,322ha(33%)について、公益的機能の維持増進のためにも適正に保育を実施していく必要がある。 また、本地区の森林は、地域住民の生活に密着した里山から林業生産活動を積極的に実施する必要のある山林、さらには貴重なイヌシデ林が残る大滝大川県立自然公園等の広葉樹が林立する樹林帯などバラエティーに富んだ林分構成になっており、それぞれの地域性にあった森林整備を実施していく必要がある。</p> <p>③ 本地区を整備する目的・意義 木材生産を目的とした林業経営を行っている区域については、木材生産機能維持増進と位置づけて、計画的かつ効率的な森林整備と継続的な木材生産を促進する必要がある。また、それ以外の区域についても、市町村森林整備計画に即した範囲で森林所有者の意向に配慮しながら、適切な森林整備と主伐や間伐による木材生産等の取組みを行う必要がある。 このため、計画的に間伐等の森林施業を推進するとともに、効率的に施業を行うため、路網が必要な森林において林道を開設することにより、森林の有する公益的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的として事業を実施した。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽 46.0ha 下刈り 347.4ha 除・間伐 172.9ha 枝打 96.0ha 作業路整備 1,629m</p> <p>林道整備(森林管理道)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 琴南財田1号線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 1,632m</td> <td>利用区域面積 835ha</td> </tr> <tr> <td>② 琴南財田3-1号線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 197m</td> <td>利用区域面積 220ha</td> </tr> <tr> <td>③ 琴南財田5-1号線</td> <td>車道幅員 2.0m</td> <td>開設延長 240m</td> <td>利用区域面積 176ha</td> </tr> <tr> <td>④ 山脇線</td> <td>車道幅員 2.0m</td> <td>開設延長 318m</td> <td>利用区域面積 105ha</td> </tr> <tr> <td>⑤ 笠形線</td> <td>車道幅員 2.0m</td> <td>開設延長 263m</td> <td>利用区域面積 78ha</td> </tr> <tr> <td>⑥ 塩入三野線</td> <td>車道幅員 3.0m</td> <td>開設延長 1,854m</td> <td>利用区域面積 450ha</td> </tr> </table> <p>総事業費 1,246,458千円 (当初総事業費 1,248,108千円)</p>	① 琴南財田1号線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,632m	利用区域面積 835ha	② 琴南財田3-1号線	車道幅員 3.0m	開設延長 197m	利用区域面積 220ha	③ 琴南財田5-1号線	車道幅員 2.0m	開設延長 240m	利用区域面積 176ha	④ 山脇線	車道幅員 2.0m	開設延長 318m	利用区域面積 105ha	⑤ 笠形線	車道幅員 2.0m	開設延長 263m	利用区域面積 78ha	⑥ 塩入三野線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,854m	利用区域面積 450ha
① 琴南財田1号線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,632m	利用区域面積 835ha																						
② 琴南財田3-1号線	車道幅員 3.0m	開設延長 197m	利用区域面積 220ha																						
③ 琴南財田5-1号線	車道幅員 2.0m	開設延長 240m	利用区域面積 176ha																						
④ 山脇線	車道幅員 2.0m	開設延長 318m	利用区域面積 105ha																						
⑤ 笠形線	車道幅員 2.0m	開設延長 263m	利用区域面積 78ha																						
⑥ 塩入三野線	車道幅員 3.0m	開設延長 1,854m	利用区域面積 450ha																						

① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は、以下のとおりである。 費用対効果分析手法の見直し及び森林整備面積の減に伴う事業量の減少などの要因により、費用対効果分析結果が減少した。</p> <table border="1"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>3,510,144千円</td> <td>(事業採択時 4,644,800千円)</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>2,354,607千円</td> <td>(事業採択時 1,545,206千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.49</td> <td>(事業採択時 3.01)</td> </tr> </table>	総便益(B)	3,510,144千円	(事業採択時 4,644,800千円)	総費用(C)	2,354,607千円	(事業採択時 1,545,206千円)	分析結果(B/C)	1.49	(事業採択時 3.01)
総便益(B)	3,510,144千円	(事業採択時 4,644,800千円)								
総費用(C)	2,354,607千円	(事業採択時 1,545,206千円)								
分析結果(B/C)	1.49	(事業採択時 3.01)								
② 事業効果の発現状況	<p>本事業で間伐等の必要な森林整備を実施したことにより、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮が期待される森林が整備された。 また、林道整備により、施業地へのアクセス時間の短縮及び労務の軽減化と搬出コストの低減が図られ、今後主伐期を迎える林道沿線において、採算の見込める林分が増加し、計画的な林業経営が実施可能となった。</p>									
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>本事業で整備された森林は、森林所有者や森林組合により適切に管理されている。 本事業により開設された林道は、まんのう町が定めた規則に基づき管理されている。 定期的なパトロールにより、必要に応じて草刈りや側溝掃除等が行われており、維持管理状況はおおむね良好である。</p>									

④ 事業実施による環境の変化	<p>森林整備の実施により、林内の光環境が改善され、下層植生の生育が促進された。森林及び林道の整備により、継続的な木材生産が可能な林分が育成された。</p> <p>また、森林所有者をはじめ森林組合における森林施業の実施に対する意欲が向上し、本事業により開設された林道の利用区域等において森林経営計画の策定が効率的に行われている。</p> <p>林道開設による野生動植物の生息、生育環境の悪化及び渓流水の減少などの影響は見受けられない。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>県内において、利用期を迎えた県産ヒノキの利用促進を図るため、木材の安定供給が求められている。</p> <p>また、主伐期を迎えたヒノキ林分も増えてきていることから、これまでの間伐による木材生産に加え、皆伐の実施が徐々に増えてきている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>木材の安定供給を実現するため、本事業により整備した林道の利用区域内における施業の集約化を図り、計画的な木材生産の実現に努める必要がある。</p> <p>(地元の意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備事業実施による土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与している。(香川県、まんのう町) ・ 林道整備により、木材生産や森林整備が促進され、地域の森林資源の有効活用に寄与している。(香川県、まんのう町)
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業の施行後は、土砂流出の防止、水源涵養機能等の公益的機能の高度発揮に寄与するなど、本事業の効果が発揮されていること。 森林の整備及び基盤となる路網の整備が総合的に実施されていること。 以上のことから、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備及び林道の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってもコスト縮減に努め、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 林道整備により、森林へのアクセス性が向上し、作業効率が向上した結果、森林整備が促進され、公益的機能の高度発揮が期待されること。 また、林道が災害時の迂回路としても機能していることや、森林整備により、森林の景観が向上してきていることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:香川県

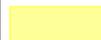
地域(地区)名:まんのう町

(単位:千円)

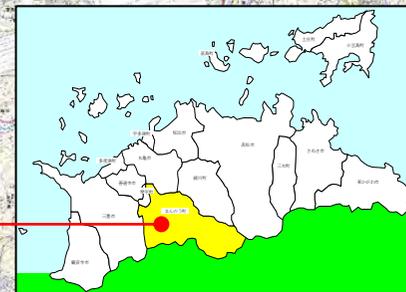
大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	387,298	
	流域貯水便益	105,000	
	水質浄化便益	234,991	
山地保全便益	土砂流出防止便益	523,567	
	土砂崩壊防止便益	2,632	
環境保全便益	炭素固定便益	145,045	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	126,306	
森林整備経費縮減便益	森林管理等経費縮減便益	86,858	
	森林整備促進便益	1,898,447	
総 便 益 (B)		3,510,144	
総 費 用 (C)		2,354,607	
費用便益比	$B \div C = \frac{3,510,144}{2,354,607} = 1.49$		

森林環境保全整備事業 まんのう町地区 概要図 【香川県】

凡例

	森林整備区域
	林道整備

まんのう町



① 琴南財田1号線 (開設)
(車道幅員3.0m 開設延長1,632m)

② 琴南財田3-1号線 (開設)
(車道幅員3.0m 開設延長197m)

⑤ 笠形線 (開設)
(車道幅員2.0m
開設延長263m)

④ 山脇線 (開設)
(車道幅員2.0m
開設延長318m)

⑥ 塩入三野線 (開設)
(車道幅員3.0m
開設延長1,854m)

③ 琴南財田5-1号線 (開設)
(車道幅員2.0m 開設延長240m)

